

令和7年度

奈良県立医科大学大学院
看護学研究科（博士後期課程）

【看護学専攻】

学 生 募 集 要 項

出願資格審査 申請期間	(一次) 令和6年6月20日(木)～6月25日(火) (二次) 令和6年9月20日(金)～9月27日(金)
出願期間	(一次) 令和6年7月18日(木)～7月25日(木) (二次) 令和6年10月17日(木)～10月24日(木)
試験日	(一次) 令和6年8月19日(月) (二次) 令和6年12月2日(月)

※一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。

奈良県立医科大学大学院看護学研究科

〒634-8521 橿原市四条町840番地

電話 0744 (22) 3051 内線 2390

<https://www.naramed-u.ac.jp/>

(電話でのお問い合わせは、月～金の午前9:00から午後5:00までをお願いします。)

看護学研究科博士後期課程の理念

奈良県立医科大学は、「豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指す」という教育理念のもとに、教育・研究を展開し地域社会に貢献してきた。医学部看護学科は、その理念を受けて、その人らしい生き方を支える看護のあり方を追求し、地域社会との連携のもとに、人間と健康に関わる問題を多面的な視野から解決できる看護実践の中核的な役割を果たす人材を育成することを目的としている。

本研究科博士後期課程では、この理念を基盤に、豊かな感性・人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化・専門分化および多様化していく医療に要求される学識を有し、実践科学としての看護学の深奥を究め、自立して研究・教育を行うに必要な、高度な能力を有する人材の育成をめざす。

看護学研究科博士後期課程アドミッションポリシー

本研究科博士後期課程では、実践科学としての看護学の深奥を究め、自立して研究・教育を行うに必要な高度な能力を有し、修了後に看護学の発展を牽引し、国際的視野から幅広く看護学を探究できる研究者・教育者、また、地域・社会に展開できる人材の育成を目指して、次のような資質を持った人を求めています。

- 1 豊かな感性・人間性と生命倫理や医療倫理を身につけている人
- 2 看護学に対する深い関心があり、専攻する学問分野の専門知識と応用能力を身につけている人
- 3 学際的・国際的視野を持ち、自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
- 4 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、牽引することができる人

【目 次】

1	専攻課程及び募集人員	1 頁
2	出願資格	1～2 頁
3	出願期間	2 頁
4	出願先	2 頁
5	出願手続	2～4 頁
6	入学者選抜方法	5 頁
7	合格者発表	5 頁
8	入学手続	5～6 頁
9	入学料	6 頁
10	授業料	6 頁
11	取得できる資格	6 頁
12	長期履修制度	6 頁
13	入学料免除制度	6～7 頁
14	研究指導教員との事前相談	7 頁
15	その他	7～8 頁
	専門領域の研究概要	9～10 頁
	参考 教育課程等の概要	11 頁

1. 専攻課程及び募集人員

専攻	分野	専門領域	募集人員
看護学	生涯発達看護学分野	小児看護学 健康科学（心と脳の発達学）	2名
	療養・生活支援看護学分野	看護実践応用学 基礎看護学	
		女性健康・助産学 高齢者看護学	
		健康科学（睡眠学） 在宅看護学	

(注) (1) 募集人員に社会人を含む。

社会人とは、医療・保健・福祉施設、教育・研究機関、企業、官公庁等において、令和7年3月31日までに概ね1年以上の実務経験を有する者をいう。

なお、入学後も引き続きその身分を有することができる。

(2) 上記社会人には、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる長期履修制度（6年）を設けている。

※ P6 長期履修制度参照のこと。

(3) 専門領域の担当教員との相談を**必ず**事前に行うこと。

① 出願に際しては、募集人員及び研究内容について、予め志望する専攻領域（学位論文作成の基本となる領域）の研究指導教員に問い合わせておくこと。

※ P7 研究指導教員との事前相談 P9 専門領域の研究概要参照のこと。

② 社会人については、事前に履修計画について相談のこと。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて入学前年度までに該当する見込みの者で、看護師、保健師、助産師いずれかの免許を有する者

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者

(2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、修士の学位に相当する学位を授与された者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で 24 歳に達する者

3. 出願期間

(一次) 令和 6 年 7 月 18 日 (木) ~ 7 月 25 日 (木)

(二次) 令和 6 年 10 月 17 日 (木) ~ 10 月 24 日 (木)

持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとする。

郵送の場合は、封筒表面に「**大学院看護学研究科博士後期課程入学願書在中**」と朱書き明記の上、期間内に**書留郵便で大学必着**のこと。

4. 出願先

〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学 教育支援課 看護学研究科入学試験担当

TEL 0744 - 22 - 3051 内線 2390

電話で問い合わせをする場合は、9 時から 17 時までとする。

5. 出願手続

次に記載する(1)の出願書類を提出すること。**なお、出願までに予め志望する専攻領域の研究指導教員に事前相談を行うこと。** (P7 [研究指導教員との事前相談] 参照)

(1) 出願書類

出願書類名	注 意 事 項
入学願書・履歴書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身無帽無背景 (縦 4cm×横 3cm) の写真 (裏面に氏名を記入すること) を貼ること。
志望理由書	本学所定の用紙 (C) (本研究科への志望動機、志望領域において希望する研究テーマとその内容について) ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
成績証明書	大学院修士課程の成績証明書 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
修士課程修了 (見込) 証明書	出願資格に該当するもの。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
修士論文	修士の学位を有する者は、学位論文の要旨 (A4 判 2 枚程度)

入学検定料 30,000円	ATM、ネットバンキングで下記振込先に振込のこと。 振込先 公立大学法人 奈良県立医科大学 南都銀行 橿原支店 普通口座 0266177 (注1) 振込依頼人名には整理番号「NSD」及び「志願者氏名」を必ず入力すること。 (例) NSD イダイタロウ (注2) 振込手数料は志願者本人の負担のこと。 (注3) 振込にあたっては、下記の期間内に振込のこと。 (一次) 令和6年7月18日(木)～7月25日(木) (二次) 令和6年10月17日(木)～10月24日(木) (注4) 振込証明書等を入学検定料納付証明書貼付台紙に貼付け、他の提出書類と一緒に提出のこと。
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の資格を有している者は、 A4判にコピーしたものを提出のこと。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
受験票送付用封筒	受験票を送付するための12cm×23.5cm(長形3号)の定形封筒に「簡易書留速達」と朱書し、694円分の切手を貼り、あて先を明記のこと。 ※この封筒は、添付していない。
在留カード又は特別永住者証明書	外国人留学生のみ ※出願時に日本国内に在住しない者は、受験のために有効な査証の写しを提出すること。
日本語能力に関する証明書	外国人留学生のみ 日本語能力に関する試験結果の写しを提出すること。(「日本語能力試験」または「日本留学試験」の証明書が望ましい。)

社会人入学志願者は、上記書類に加え、次の書類を提出すること

出願書類名	注 意 事 項
受験及び就学承諾書	在職者は、本学所定の用紙(B-1またはB-2)に所属長が証明したもの。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。

(2) 出願資格の認定

出願資格に定める(5)又は(6)で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請すること。

① 申請期間

<p>(一次) 令和6年6月20日(木)～6月25日(火) (二次) 令和6年9月20日(金)～9月27日(金)</p>
--

持参の場合は、9時から17時までとする。

郵送の場合は、封筒表面に「**大学院看護学研究科博士後期課程出願資格審査申請書在中**」と朱書き明記の上、期間内に**書留郵便で大学必着**のこと。

② 申請書類

資格審査に必要な書類	作成方法	出願資格		
		(5)		(6)
		①	②	
出願資格審査申請書 ・ 履 歴 書	本学所定の用紙 (A)	○	○	○
成 績 証 明 書	最終学歴に関するもの。	○	○	○
卒業 (修了) 証明書	最終学歴に関するもの。	○	○	○
免 許 証 の 写 し	看護師、保健師、助産師の資格を有している者は、 A4判にコピーしたもの。	○	○	○
在 職 期 間 証 明 書	所属の長の証明によるもの。	○	○	
受験及び就学承諾書	※在職者は、本学所定の用紙 (B-1 または B-2) に所属長が証明したもの。	社会人のみ		
志 望 理 由 書	本学所定の用紙 (C) (本課程への志望動機、志望領域において希望する研究テーマとその内容について)	○	○	○
研 究 活 動 歴	本学所定の用紙 (D) 抄録又は論文のコピーを添付すること。	○	○	○
結果通知送付用封筒	出願資格審査結果を通知するための 12cm × 23.5cm (長形 3号) の定形封筒に「簡易書留速達」と朱書し、694円分の切手を貼り、あて先を明記のこと。 ※この封筒は、添付していない。	○	○	○

③ 出願資格審査の方法

申請書類により行う。ただし、必要と認められたものについては、口述審査を行う。

④ 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により申請者あて通知する。

提出上の注意

ア 出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付すること。

イ 証明書が現姓と異なる場合は、戸籍抄本等、改姓したことを証明できる書類 (出願前 3 か月以内に交付されたものに限る。) を提出すること。

ウ 必要に応じて、他の書類の提出を求める場合があるので、その場合は速やかに指示に従うこと。

6. 入学者選抜方法

英語試験及び口述試験・面接の結果、並びに出願書類等を総合的に判定する。

(1) 入学者選抜方法及び配点

試験日	時間・科目・配点	
(一次) 令和6年 8月19日(月)	11時00分～12時30分	13時30分～
	英語(注) 100点	口述試験 100点
(二次) 令和6年 12月2日(月)		

(注) 英語の受験については、試験場へ英語の辞書(英和辞典)1冊の持ち込みを認める。ただし、電子辞書を除く。

(注) TOEIC L & R スコア(以下、スコアと表記する。)を提出した者は、英語の試験を免除する。(スコアは本学試験日から直近2年以内のものに限る。)

スコアを下記の計算式に基づき得点換算する。

- ・スコアが220点以下の場合、英語点数を0点とする。
- ・スコアが730点以上の場合、英語点数を100点とする。
- ・スコアが221点以上729点以下の場合、次式により得られる値(少数点以下第一位を四捨五入)を英語点数とする。

$(\text{スコア} - 220) \times 10/51$

(注) 口述試験は、修士論文あるいはこれまでの研究内容について発表し、それをもとに質疑応答を行う。試験時間については1人30分程度を予定している。

口述試験の詳細は受験生に別途お知らせする。

※学力試験または口述試験の結果が一定の水準に達しない場合は、合計得点に関わらず不合格とする。

(2) 試験会場 奈良県立医科大学(奈良県橿原市四条町840番地)

7. 合格者発表

(一次) 令和6年9月10日(火) 午後3時(予定)
(二次) 令和6年12月10日(火) 午後3時(予定)

合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続きに必要な書類を発送する。

<https://www.named-u.ac.jp/university/nyushijoho/kangogakukenyuka/gokakuhappyou.html>

(注) 合否についての電話等による問い合わせには、一切応じない。

8. 入学手続

入学料を、後日郵送する納入通知書により金融機関窓口で納付し、その納付証明書と(2)の入学手続書類を本人が持参又は郵送により手続すること。なお、手続期間内に入学手続を完了しない者は入学を辞退したものと取り扱う。また、納入した入学料及び提出書類は返還しない。

- (1) 手続日 ※本人が持参の場合
(一次) 令和6年9月17日(火)・18日(水) 午前10時～午後5時
(二次) 令和6年12月16日(月)・17日(火) 午前10時～午後5時
※郵送による手続きの場合
(一次) 令和6年9月11日(水)～18日(水) **午後5時必着**
(二次) 令和6年12月11日(水)～17日(火) **午後5時必着**

(2) 入学手続書類

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 保証人誓約書 | 本学所定の用紙に保証人が連署したもの |
| ② 卒業証明書 | 卒業見込みで受験した者 |
| ③ 免許証の写し | 取得見込みで受験した者 |
| ④ 住所届 | 本学所定のもの。 |
| ⑤ 入学料納入の領収書 | 確認後、返却 |

9. 入学料

282,000円(入学手続きまでに銀行振込)

※要件に該当する者について、入学料を免除する制度がある。詳しくはP6を参照のこと。

10. 授業料

535,800円 2期分納(4月、10月)

(ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には、当該改定時から新授業料が適用される。)

※経済的な理由により授業料の納付が困難で、かつ、学業が優秀な学生の修学を支援する制度として、授業料全額又は半額が減免される制度がある。

11. 取得できる資格

博士(看護学)の学位を授与する。

12. 長期履修制度

大学院設置基準15条に基づき、入学後、職業を有する等の事情により、標準修業年限(3年)では大学院の教育課程の履修が困難な者を対象とした制度である。

この制度は、3年間の課程を6年間で履修することができる制度であり、出願時に志望する専門領域の担当教員と相談の上、計画を立て、入学時に申請し、許可された者が対象となる。長期履修学生として認められた場合の授業料は、標準修業年限を超える履修期間について徴収しない。

13. 入学料免除制度

次のいずれかに該当する者については、入学料を免除する

1. 本学大学院看護学研究科博士前期課程を修了し、本学大学院看護学研究科博士後期課程に進学する者
2. 本学大学院看護学研究科博士後期課程に入学する者のうち、入学の日の1年前から引き続き県内に住所を有し、経済的支援を必要とする者(注)

(注) …本人及び配偶者の合計収入が、日本学生支援機構の第二種奨学金大学院博士後期課程貸与の基準額(718万円)以下の者であること。

※入学料免除を希望する者は、申請書を本学に請求し、申請書に必要書類を添えて出願書類と一緒に出願期間内に提出すること。

1) 申請書の請求方法

・郵送により請求する場合

封筒に「大学院看護学研究科 入学料免除申請書請求」と朱書きし、その封筒に返信用封筒（角形2号封筒）を同封（郵便番号・住所・氏名を明記して120円切手を貼付）の上、教育支援課 看護学研究科入学試験担当宛に請求する。

・大学の窓口で直接請求する場合

平日の9時～17時の間に、大学本部棟1階 教育支援課 入試・学生支援係まで請求する。

2) 申請書の提出方法

申請書に必要書類を添付の上、出願書類と一緒に出願期間内に提出すること。

※入学料免除決定者が入学手続き後に入学を辞退した場合は、免除した入学料を速やかに納付しなければならない。

14. 研究指導教員との事前相談

志望コース・領域を選定後、出願前に**必ず**事前相談を行うこと。

事前相談の進め方および主な相談内容

(1) 事前相談について、メールで連絡をする。

奈良県立医科大学大学院看護学研究科博士後期課程 事前相談専用アドレス
nsdoctor@naramed-u.ac.jp

(2) メールによる連絡内容は次の通りとする。

件名：【大学院看護学研究科博士後期課程】事前相談

内容：①氏名（ふりがな）

②出身校

（学校名、学科・専攻名、課程〈修業年限〉、卒業〈見込〉年度）

③職歴

④志望する専攻のコース・領域・教員名

⑤研究テーマ

⑥連絡先 ・連絡の取れる電話番号 ・メールアドレス

(3) 本学より事前相談の日程等について連絡をするので、研究テーマや修学などについて教員と相談する。

諸注意

※事前相談は、直接面談もしくは、メールで行う。

15. その他

(1) 出願書類を郵送するときは、必ず書留とし、封筒に「**大学院看護学研究科博士後期課程入学願書在中**」と朱書すること。

(2) 出願手續完了後は、志望領域の変更は認めない。また、出願書類及び入学検定料の返還はしない。

(3) 出願に関する問い合わせは、教育支援課 看護学研究科入学試験担当宛に電話で行うこと。なお、メールによる質問は受け付けない。

[問い合わせ先] 奈良県立医科大学 教育支援課 看護学研究科入学試験担当
0744 - 22 - 3051 内線 2390
※平日の9時から17時までとする。

専門領域の研究概要

<生涯発達看護学分野>

領 域	研究指導教員	講義等の内容
小児看護学	川上 あずさ	子どもと家族を発達する存在ととらえ、発達を多角的に理解したうえで、看護の専門性を考慮し、研究に関連する課題や現象を焦点化します。子どもと家族の潜在している能力の発揮、関係性に注目し、自閉スペクトラム症（ASD）児を中心に発達障害の子どもとそのきょうだい、家族を支援するための課題の明確化と方策の検討に関する研究を進めます。
健康科学	太田 豊作	(心と脳の発達学) 人の心の発達を脳科学的な視点と精神心理学的な視点の両方から学習し、その両者の視点を統合させる。先進的な医療機器による脳科学を学び、個人の発達の理解を深め、発達の視点で人間の心・脳を探求する。
女性健康 ・助産学	五十嵐 稔子	現在、少子化や医療資源の制約から、分娩施設が集約化され、妊産婦を取り巻く環境が大きく変化しています。また、高度生殖補助医療の進歩や家族の多様化などにより、親になる過程が複雑化しています。このような複雑な社会状況の中で、妊産婦とその家族がより良い出産・育児のプロセスを経て、次世代の育成を支えるために、助産におけるベストプラクティスを探求します。
高齢者看護学	澤見 一枝	高齢者看護学では、医療の高度化・専門分化及び多様化に応じて求められる学識を習得し、高齢者看護学の発展を牽引する創造的な研究を行うことを目指しています。高齢者看護学を充実・発展・革新させていくための研究を計画、実践し、その成果を活用できることが到達目標です。

<療養・生活支援看護学分野>

領 域	研究指導教員	講義等の内容
看護実践応用学	石澤 美保子	療養・生活支援看護学分野は、人々が生活する場にとらわれず、病状の回復・安定と療養生活の質の維持向上を支援する看護を探究する分野である。健康障害や治療により生活に様々な影響を受けながら療養する人々に対し、専門的知識をもとに論理的に理解したうえで、課題や苦痛を考察し、療養者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立ち、高度な専門的知識・技術を有する看護実践を検討することで看護を探究する。
基礎看護学	松田 明子	基礎看護学領域では①薬物治療を受ける療養者を取り巻く生活支援や服薬管理に関する課題について医療安全や臨床薬理学的分野の視点で捉えた研究。②患者の薬物治療過程において意思決定支援等に関する研究。③援助者に対しての安全管理や臨床薬理学分野の視点から看護教育に関する研究について主に行う。この研究実践を通して、地域および施設の連携体制の構築の課題を明確にし、その調整を図る能力を育む。
健康科学	山内 基雄	(睡眠学) 生命維持および心身の健康に不可欠である睡眠をキーワードに掲げ、不適切な睡眠が心身に及ぼす影響、様々な疾患や病状が睡眠に及ぼす影響、さらには睡眠時無呼吸症候群をはじめとした多彩な睡眠関連疾患診療における“アンメット・メディカル・ニーズ”を看護師の視点から見つけ出し、看護実践介入に必要なエビデンス構築のための研究を行います。
在宅看護学	小竹 久実子	在宅看護学では、一流の著名な専門家からの講義・演習が受けられるように授業設計をしています。Dignity Therapy や Grief Care についての Active Learning、研究方法では、Systematic Review による文献検討、Modified Grounded Theory 開発者による質的研究、健康関連 QOL (SF-36V2) 尺度日本語版開発者による量的研究を学びます。その上で、Research Question を明確化し、在宅看取りに至るまでの人生を支える看護、Quality of Life の探究をしていきます。在宅看護実践に活用しうる研究をしていきましょう。

区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		修了要件履修単位	
			必修	選択		
共通科目	看護学研究法	1前	1		選択 1単位以上	
	看護の理論と概念	1後	1			
	看護病態学	1通		1		
	看護ケアシステム開発	1通		1		
	アカデミックライティング	1通		1		
	看護人材育成論	1通		1		
専門科目	生涯発達看護学分野	生涯発達看護学分野特論	1通		専攻分野 特論 2単位以上 演習 2単位以上 特別研究 6単位以上	
		生涯発達看護学分野演習	1通			2
	療養・生活支援看護学分野	療養・生活支援看護学分野特論	1通			2
		療養・生活支援看護学分野演習	1通			2
研究科目	生涯発達看護学分野	生涯発達看護学分野特別研究	2～3通		6	
	療養・生活支援看護学分野	療養・生活支援看護学分野特別研究	2～3通		6	
学位又は称号 : 博士(看護学)			学位又は学科の分野 : 保健衛生学関係			
修了要件及び履修方法						
本大学院に3年以上在学し、科目について13単位以上修得し、かつ、学位論文を提出しその審査及び最終試験に合格しなければならない。				1 学年の学期区分	2 期	
				1 学期の授業期間	1 5 週	
				1 時限の授業時間	9 0 分	

奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）入学志願書
（第 次）

		受験番号	※
ふりがな			
志願者氏名			
生年月日	西暦 年 月 日生 歳（2025年4月1日現在）	性別	
出願資格	大学	大学 学部 学科 年 月 卒業（修了）・卒業（修了）見込	
	大学院	大学院 年 月 卒業（修了）・卒業（修了）見込	
	その他	出願資格 <input type="checkbox"/> (5) - ① <input type="checkbox"/> (5) - ② <input type="checkbox"/> (6) 年 月 卒業（修了）	
免許・資格	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号
	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号
志望する 分野・領域	分野（ ） 領域（ ）		
連絡先 （合格通知先）	〒 TEL		
その他の 連絡先	ふりがな		
	氏名		
	住所	〒 TEL	
他大学院の 併願状況	大学院 研究科 ※記載内容について、合否に影響を与えるものではありません		
貴学大学院看護学研究科（博士後期課程）に入学を志望しますので所定の書類を添えて 提出いたします。 年 月 日 奈良県立医科大学長 殿 志願者氏名 印			

※欄は記入しない

奈良県立医科大学大学院
看護学研究科博士後期課程

（第 次）
受験票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
志望領域	
外国語	英語
この票を受験中は必ず机上に置くこと	

※は記入しない

奈良県立医科大学大学院
看護学研究科博士後期課程

（第 次）
写真票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
写 真 (縦 4.0×横 3.0cm) ○正面・上半身・無帽・ 無背景・単身で出願前 3か月以内に撮影した もの。 ○写真の裏面に必ず氏名 を明記すること。 ○写真の裏面全体にのり 付けすること。	

※は記入しない

履 歴 書		
本 籍	都 道 府 県	
現 住 所		
氏 名 生 年 月 日	西 暦 年 月 日 生	
区 分	年 月	記 載 事 項
学 歴	年 月	高等学校卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月～ 年 月	在職期間 年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
	年 月～ 年 月	年 月
賞 罰		
上記の通り相違ありません		
年 月 日		
氏 名		印

奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）出願資格審査申請書

		番 号		※	
ふりがな					
申請者氏名					
生 年 月 日		西暦 年 月 日生		性 別	
		歳（2025年4月1日現在）			
出 願 資 格 <input type="checkbox"/> (5)–① <input type="checkbox"/> (5)–② <input type="checkbox"/> (6)		最 終 学 歴		年 月 卒業（修了）	
該当するものを チェックすること。 募集要項P1, 2 「2.出願資格」参照		その他			
免 許 ・ 資 格		免許・資格 取得年月 番号		免許・資格 取得年月 番号	
		免許・資格 取得年月 番号		免許・資格 取得年月 番号	
志望する 分野・領域		分野（ ） 領域（ ）			
連 絡 先		〒 TEL			
その他の 連絡先	ふりがな				
	氏 名				
	住 所		〒 TEL		
<p>貴学大学院看護学研究科（博士後期課程）の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>奈良県立医科大学長 殿</p> <p style="text-align: right;">出願者氏名 印</p>					

※欄は記入しない

履 歴 書

本 籍	都 道 府 県		
現 住 所			
氏 名 生 年 月 日	西 曆 年 月 日生		
区 分	年 月	記 載 事 項	
学 歴	年 月	高等学校卒業	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職 歴	年 月～ 年 月	在職期間 年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
賞 罰			
上記の通り相違ありません			
年 月 日			
氏 名			印

受験及び就学承諾書

氏名

生年月日 年 月 日

上記の者が、令和7年度奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の入学試験を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院看護学研究科（博士後期課程）に社会人大学院生として入学した場合は、在職のまま就学することを承諾します。

令和 年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

印

受験及び就学承諾書

承認印	
-----	--

氏名

生年月日 年 月 日

上記の者が、令和7年度奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）の入学試験を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院看護学研究科（博士後期課程）に社会人大学院生として入学した場合は、在職のまま就学することを承諾します。

令和 年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

所在地 奈良県橿原市四条町 840 番地

機関名 奈良県立医科大学

所属長（職・氏名）

印

(注) 承認印欄：受験者が大学の教職員にあっては医学部長、附属病院職員にあっては病院長とします。

志望理由書

氏名	
----	--

奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）

【本研究科への志望動機】

【志望領域において希望する研究テーマ】

- ・内容

- ・研究方法

注：本様式に直接記入するか、本様式（A4版）に準じてパソコン等により作成すること。

研究活動歴

氏名	奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士後期課程）
年月	事項

注：1 抄録又は論文のコピーを添付のこと。

注：2 学会及び社会における活動等（各種団体や委員会等の委員）について、団体名、役職名、活動内容（研究発表等を含む）及び期間を年次順に記入すること。

注：3 本様式に直接記入するか、本様式（A4版）に準じてパソコン等により作成すること。

受験番号

※

入学検定料納付証明書貼付台紙

ふりがな
氏名

入学検定料納付証明書貼付欄

こちらに貼付
ください。

注)・振込証明書等を貼付欄に貼付のこと。

・※印欄は記入しないこと。